

からすもり幼稚園説明会における主な質疑（要旨）

7月27日（火）9:40~12:00 発言者9名

	質 問	回 答
1	<p>説明会での意見のやり取りを要約でなく全文議事録に載せて、5名の教育委員と全議員への報告に載せて欲しい。こういう方法でしか保護者の意見を聞いてもらう機会がない。</p>	<p>議事録は、全文筆記ということだと膨大な量になってしまうので、一定程度は要約させていただく。同様意見もまとめさせていただく。ただし、意見の趣旨は損なわない範囲で要約していきたい。</p>
2	<p>教育委員5名との懇談会を要望したが実現は難しいとの回答を得た。 教育委員は、いろいろな職業の人たちがやっている。現場の声を聴くという体制を無しにしてしまうと、机上の議論になってしまう。</p>	<p>教育委員との懇談について、教育委員は政治的なものから独立した中立という立場にある。いろんな意見をお持ちのかたがいる中で、特定の人と懇談するなど直接バイアスがかけられないようなところで判断していただきたいと思う。 ただし、説明会の質疑の要旨は意見の趣旨を損なわない範囲で要約し、教育委員会や文教・子ども委員会に報告していく。</p>
3	<p>5月の説明会ではあくまでも(案)の段階と言われていた。保護者の意見が活発になっても全く方向性が変わらないのは何故なのか。行政が組織として動いているのならば、所管として私たちの意見をどのように反映していくのか答えて欲しい。 要は、自分たちの子どもを落としこぼしをしないで欲しいということだ。自分たちで私立も含めて探して欲しいというが、それで納得させようと思っても無理である。待機児の話とかで説明されても、私たちと議論の土台が違うので噛み合っていない。</p>	<p>噛み合っていないとの指摘だが、皆さんの思いが今後の検討の中でどのように反映されるのかということかと思う。思いを受け止めながら、基本的方向に基づいて、具体化をしていく中で反映できるものは反映していきたい。 ただし、全てにおいて納得できる形にしないと進められないということではなく、3園の認定こども園移行と2園の保育園転用という方向は、議会報告を行い、教育委員会、政策決定会議で決定している。私どもとしては、区の就学前の子どもたちに対する幼児教育振興と、全ての子育て家庭への支援のために必要であると思ってやっている。引き続き説明し、ご理解いただけるよう努力していく。</p>
4	<p>北部地域の待機児童は少ない。3～5歳は空いている。0～2歳は7名程度。通勤にも不便な所に保育園を立てる意義は感じない。どの地域に保育園が必要なのか検討するべきである。 私見だが、妥協案として3つ提案がある。強行に進めるのではなく、提案について、区として前向きに検討して欲しい。 廃園時期を最大5年延長し、みどりがおか幼稚園のように預かり保育を実施し、こども園に緩やかに移行する。 上目黒保育園を0～2歳児主体の保育園として拡充し、からすもり幼稚園で3～5歳児の幼保一体教育を行う。 からすもり幼稚園園児の降園後、学童保育クラブを受け入れる。</p>	<p>保育園待機児というのは、認可保育園に申し込んで入れなかった人のうち、認可外保育施設に入ったりなど、何らかの自助努力で保育の必要性がない状態になった人の数を差し引いた後の数字である。この地域に認可保育園はいらぬということに関しては、まだまだ必要だと思っている。</p>

	質 問	回 答
5	<p>私たちも全く対立しているわけではなく、意見を聴いてくれて、平成25年3月末という廃園時期を延ばすとか、5年、10年、ひがしやま幼稚園改築までとか、行政として納得できることを提示していただければと思う。</p> <p>今年の年少組4歳児クラスに通っているが、2歳違いの弟妹がいる。来年別々の幼稚園に通うことは物理的に難しい。</p>	<p>廃園時期を延ばして欲しいという要望について、ひがしやま幼稚園の改築までというのは、年次も決まっていないので難しい。4歳児の2歳違いの弟妹のことも承知しているが、今年募集する3歳児のお子さんに1歳児の弟妹がいる場合も同じことになる。</p> <p>十分理解はしているが、平成25年3月末を目途というのは、保育園待機児解消を早くやりたい、平成25年4月からの認定こども園の人員配置もあるということである。</p>
6	<p>10年前には給食委託の問題があった。反対運動をやったが委託が進んだ。区政は縦割りではなく総合的に考えて欲しい。子どもたちが少なくなったから見直すのではなく、区独自の教育を立てて欲しい。認定こども園は公立でやれるのか、職員も公立の職員なのか伺いたい。</p>	<p>日中保育に欠ける子も欠けない子も等しく就学前の教育を受けられるよう、目黒区は、幼稚園型の認定こども園を考えている。幼稚園は学校教育法で学校の設置者が自ら管理しなくてはならないので、直営でやる。認定こども園として充実した教育・保育をする。地域の子育て支援も進めるということで、それなりにスタッフも投入していく。</p> <p>保育園については、子育て支援部と連携しながら進めていく。具体的な方向はまだ固まっていない状況である。</p>
7	<p>職員の人員配置は認定基準でどういう制約を受けるのか。</p>	<p>幼稚園型の認定こども園なので、9時～14時は幼稚園の認可基準に基づき35人に1名の幼稚園教諭、保育の部分は保育の基準がある。国の基準では、3歳児20人に1名、4～5歳は30人に1名の保育士である。認定基準をクリアしないと認定されないの、しっかりやっていく。</p>
8	<p>平成24年度に区立に入る予定だったが、例えばからすみ幼稚園が園児をとらないということになると、区立に入れたい場合にはひがしやま幼稚園となる。ひがしやま幼稚園の園児が多くなると抽選もあり、入れないということになると、やはり私立を選択するしかないということになるのか。</p>	<p>ひがしやま幼稚園の定員は35名なのでそれを超えたら抽選となる。</p> <p>今の時期としては私立も含めて考えていただきたい。私立幼稚園が10月から入園募集が始まるので、9月には今年の募集はするが来年はしないという、幼稚園選択ができるような情報をアナウンスしていきたいと思っているので、私立についてもご検討いただければと思う。</p>
9	<p>廃園時期は2歳児をもつ母親にとって切実な話である。9月では遅い。その意味でも1年延長して欲しい。9月に情報出されても準備ができない。</p>	<p>家庭の事情、子育て観等様々な状況があると思うが、予め私立も含めて検討していただきたいという趣旨で、9月にも説明していきたいと思っている。</p>
10	<p>東山の官舎に住んでいる。転勤しても2～3年で東山を希望し戻るケースが多い。1週間位前に人事異動が決まる。5歳児がいて、ひがしやま幼稚園に電話するとからすみ幼稚園に電話してくださいと言われた。私立も通える範囲の園すべてが定員になっていた。</p> <p>廃園が決まれば1歳半の子どももおり、幼稚園を新たに探さなくてはならない。友達に</p>	<p>転勤から戻ってきたときの受け皿として、ひがしやま幼稚園の定員を増やして欲しいという意見・要望はいただいているが、教室数をこれ以上拡充することはできない。それを、9月までに受け皿まで決めてからというのは、現時点では難しい。溢れてしまえば抽選にならざるを得ない。私立を含めて選択できる状況となるよう説明していきたい。</p>

	質 問	回 答
	は所得制限で補助を受けられず、区立に通っている人もいます。そういう人が溢れた場合、区としてどういう対応をしてくれるのか。それがいつ決まるのか。確定しないと親は納得しない。9月では遅いのではないかと。転居後の戻った後の受け皿を心配しているかともいます。周知が十分されていない中で廃園はいかなるものか。	9月に言われて10月では遅すぎるというご指摘もあるが、その意味でも平成25年3月末を目途と時期を明確にしたうえで、今、7月末ではあるが説明会を実施している。
11	ふどう、からすみ幼稚園は、認定こども園にすればよい。10年間に考え方がいろいろ変わっているので、3年後保育園になるかとも思えない。3年後廃園その後改修工事となっているが、遅すぎるという指摘もある。オープンして保育園に空きが出た場合はどうするのか。こども総合計画では、4園は賃貸型保育園として整備していく内容となっているようだ。今回の計画は、子ども総合計画には入っていないようだが、リンクする方向もあると思うがどうか。	認定こども園にすればよいと言うが、簡単に5園全部認定こども園にできる状況ではない。区の財政状況も厳しい。新しい事業をやるには、スクラップ&ビルドが原則である。保育園待機児がいる中で、定員充足率が低下している区立幼稚園2園を保育園に振り替えるなど、在り方を見直していく必要がある。 保育園に空きが出来る事は想定していない。子ども総合計画の中で4園が何処でどう建てられるかは、今後の進め方の中で検討していくことである。その中で、リンクしていければと思う。
12	まだ説明に納得していない。校庭の人工芝化のときにはもう一度話し合いの場をもってもらった。できればもう一度やって欲しい。保育園になりましたという結果の報告ではなく、皆で考え直したということやって欲しい。	平日の日中来られない人のために8月28日の土曜日に区の総合庁舎大会議室でもう一度説明会を予定している。 今は基本的方向について説明している。基本的方向としては、平成25年3月末を目途に廃園し、保育園にしていこうということである。 8月28日も結果報告ではなく、今日と同じ内容である。
13	廃園時期の延長とか、変わる可能性はあるのか。	可能性の話をされてしまうと、ゼロかというゼロではないが、まずは政策決定した基本的方向の中で、廃園時期は平成25年3月末を目途とすると明確に示したので、これを目指していくというのが姿勢である。